

栃木県建設産業における担い手の確保・育成に係る基本計画策定
検討委員会（第1回） 議事録

▽日 時 令和8年8月3日（月）14：00～15：00

▽会 場 栃木県庁北別館201会議室

▽出席者 委員 中村祐司委員長、大島精一委員、見目正明委員、谷黒克守委員、日向野雅巳委員、村上英二委員

事務局 栃木県県土整備部技術管理課：細井、伊勢、鈴木、渡邊、元野、人見

（株）あしぎん総合研究所：佐藤、菅沼、阿久津、片平

次第：

1. 開会
2. 挨拶
3. 委員の紹介
4. 設置要綱について
5. 委員長の選任について
6. 基本計画（案）について
 - （1）Ⅰ 栃木県建設産業担い手確保・育成の基本方針（案）
 - （2）Ⅱ インフラトレーニングセンター基本計画（案）
7. 今後の検討委員会の予定について
8. 閉会

【配布資料】

- 資料1 検討委員会設置要綱・委員名簿
- 資料2 委員会説明資料
- 資料3 栃木県建設産業担い手確保・育成基本方針（案）
- 資料4 インフラトレーニングセンター基本計画（案）
- 資料5 アンケート集計結果（事業者）
- 資料6 アンケート集計結果（従業員）

1. 開会 【事務局（鈴木副主幹）開会宣言】
2. 挨拶 【横尾県土整備部長挨拶（細井技術管理課長代読）】
3. 委員の紹介 【委員及び事務局の紹介】
4. 設置要綱について 【事務局（渡邊係長）より設置要綱について説明】
5. 委員長の選任について ●事務局 鈴木副主幹 設置要綱にある通り、委員長は委員の互選により定めることとなっております。委員の皆様からご推薦をよろしくお願い致します。 ○見目委員 宇都宮大学にて地域デザイン科学部教授を務め、学識経験者である中村委員を推薦致します。 ●事務局 鈴木副主幹 ただいま中村委員のご推薦がございました。皆様いかがでしょうか。 ○委員一同 異議なし ●事務局 鈴木副主幹 ありがとうございます。それでは中村委員に委員長をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。 【中村委員長挨拶】

6. 基本計画（案）について

●事務局 鈴木副主幹

それではさっそく議題に入りたいと思います。以降の進行につきましては委員長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願い致します。

（１）Ⅰ 栃木県建設産業担い手確保・育成の基本方針（案）

○中村委員長

次第の6. 基本計画(案)についての審議に入りたいと思います。まず事務局から「Ⅰ 栃木県建設産業担い手確保・育成の基本方針(案)」について説明をもらいたいと思います。

【事務局（渡邊係長）より「Ⅰ 栃木県建設産業担い手確保・育成の基本方針（案）」について説明】

○中村委員長

一旦ここで区切り、「Ⅰ 栃木県建設産業担い手確保・育成の基本方針(案)」に関して、皆様からご意見・ご質問等賜りたいと思います。どなたかご意見・ご質問等ございますか。

○見目委員

課題として人口減少・少子高齢化に伴う建設業従事者の減少を取り上げていますが、危機感が伝わりにくいと思います。建設業従事者が減少するとインフラの維持管理が困難になるなど、社会に及ぼす影響も交えて課題の掘り下げを行った方が良いと思います。

●事務局 細井参事兼課長

貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘の通り、基本方針では建設業従事者の減少への言及に留まり、社会へ及ぼす影響に関する記載が不十分でありました。記載を追加して課題の掘り下げを行いたいと思います。

○村上委員

本事業は、素晴らしい取組みと感じております。私は高校という教育機関の立場で参加させて頂いております。高校では、既に栃木県建設業協会様に平成20年から人材育成事業のご支援を頂き、人材育成に取り組んでおります。建設業協会様から現場第一線の技術者を派遣して頂き、生徒が企業の先端的な体験ができる機会を設けたことで、県内の建設業を担う企業への就職者が徐々に増加致しました。その結果私の肌

感覚であります。他県と比べ専門高校にて土木工事業を専攻した生徒が県内の建設業に従事する割合が高いと感じております。そういった意味では、県を挙げて建設業産業の担い手確保・育成に取り組んでもらえることは、高校から見てもありがたい話と思っております。ぜひ生徒や教職員もこの枠組みに入れて頂き、高校だけでは賅いきれない人材育成に取り組んで頂ければと思います。また今市工業高校の土木科が鹿沼商工高校に再編される等、専門高校においても生徒確保に苦慮しております。本センターを通して、学科を絞らずに県内高校への建設業界のPR活動に注力して頂きたいと思い、意見を述べます。

●事務局 細井参事兼課長

貴重なご意見ありがとうございます。生徒とその保護者に建設業の魅力や重要性を理解して頂き、建設業への就業を希望する若者が早い段階から専門的な技術を学べる機会を提供できるように努めていきたいと思っております。

○中村委員長

それでは「Ⅱインフラトレーニングセンター基本計画（案）」の議題に移りたいと思います。まず事務局から「Ⅱインフラトレーニングセンター基本計画（案）」についてのご説明を頂ければと思います。

【事務局（渡邊係長）より「Ⅱインフラトレーニングセンター基本計画（案）」について説明】

○中村委員長

今回の委員会では、基本計画の方向性についてご意見・ご質問等を頂ければと思います。皆様いかがでしょうか。

○中村委員長

建設業における担い手確保・育成の対象者に未経験者を見据えており、幅広い視野を持った素晴らしい取組みと感じております。時代の変容の中で、副業という働き方がありますが、副業として技術者や技能者を検討している入職希望者も対象としているのでしょうか。

●事務局 伊勢課長補佐

現場で頭を張れる人材の育成を目指しているため、本業としての入職希望者を対象としています。しかし建設業を本業としつつ、何かしらの副業を検討している方も対象としたいと思っております。

○大嶋委員

私も基本計画に大賛成であり、皆様と一緒に建設産業従事者の確保・育成に取り組んでいきたいと思ひます。日本のインフラ技術は素晴らしいものです。今回の熊本地震において倒壊した橋は殆どありません。橋の壊れ方も周囲への影響を最小限に抑えるよう設計されたものです。このようなインフラの維持管理に対する考え方は、日本にしかないと思ひます。土木工学は経験工学と言われることもあり、現場の経験が重要となる職業であります。本センターを通して、現場に対する理解を深めてほしいと思ひます。

○谷黒委員

私は栃木県建設業協会を代表して、本事業に関して議論をしている立場にあります。今回の委員会では委員の皆様のご意見・ご質問等を賜りたいと思ひます。

○日向野委員

本計画にて、若者や未経験者も人材確保・育成の対象としていますが、年齢による制限を設けるのか、現場から離れている経験者を対象とするか、お考えがあればお聞かせください。

●事務局 伊勢課長補佐

本センターでは、資格取得支援やキャリア形成支援、リカレント教育などを通して建設業従事者への支援も行っていきたいと思ひます。また、年齢制限は設けない考えです。

○村上委員

本年度から宇都宮工業高校は、国の事業であるネクストハイスクール構想に採択となりました。今年度から令和 10 年までの 3 年間、2040 年問題を見据えて DX や ICT に特化した教育改革に取り組んでおります。高校と本センターがコンソーシアムを結ぶことで、課題解決に向けた包括的な取組みができるとわくわくしております。

○見目委員

計画倒れとならないようにロードマップを示した方がよいと思ひます。本センター設置に伴い教員の養成や設備整備等に相当な費用が発生すると思われまふ。費用を無駄にしないためにも、本センター稼働までのスケジュールを設けるのがよいと思ひます。

○中村委員長

建設産業に興味を持っている人に絞らず、関心を持つ人たちを増やすための取り組みが重要となると思います。パンフレット配布だけでなく、若者の興味を引けるようにPRすることが重要になると思います。現在サイバーテロやプログラムへの人材として文系の学生が引く手あまたとなっており、業界に対する知識が全くない人材を一から育成することも重要ではないかと文献で読んだことがあります。対象者を絞らず、視野を広く持つことが重要となると思います。

○見目委員

宇都宮大学の構造学の教授が、橋の設計や工事の魅力発信のため校内連携講座を始めたと伺っています。普通科の生徒に土木の設計や現場のPR活動も始まっています。本センターでもPR活動に注力することが重要であると思います。

7. 今後の検討委員会の予定について

【事務局（渡邊係長）より今後の検討委員会の予定について説明】

8. 閉会

【事務局（鈴木副主幹）閉会】